

令和8年度全国中学校体育大会

第56回全国中学校剣道大会要項

1 目 的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広く武道としての剣道競技実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。

2 主 催 (公財) 日本中学校体育連盟 (公財) 全日本剣道連盟 山口県教育委員会 下関市教育委員会

3 主 管 中国中学校体育連盟 山口県中学校体育連盟 (一財) 山口県剣道連盟 下関市剣道連盟
山口県中学校体育連盟下関支部 山口県学校剣道連盟

4 後 援 スポーツ庁 全日本中学校長会 全国都道府県教育長協議会 全国市町村教育委員会連合会
日本私立中学高等学校連合会 (公社) 日本PTA全国協議会 全国新聞社事業協議会
山口県 下関市 山口県中学校長会 下関市中学校長会 (公財) 山口県スポーツ協会
下関市スポーツ協会 山口県PTA連合会

特別協賛 大塚製薬株式会社 菅公学生服株式会社

5 会 期 令和8年8月21日(金)～23日(日)

8月21日(金)	選手・監督 開場	8時 00分
【女子団体戦】	竹刀検量	8時 00分
	開始式	9時 20分
	試合開始	9時 55分
	表彰式	15時 45分
8月22日(土)	選手・監督 開場	8時 00分
【男子団体戦】	竹刀検量	8時 00分
	開始式	9時 20分
	試合開始	9時 55分
	表彰式	15時 45分
8月23日(日)	選手・監督 開場	8時 00分
【男女個人戦】	竹刀検量	8時 00分
	開始式	9時 20分
	試合開始	9時 55分
	表彰式	13時 40分

6 会 場 「J:COM アリーナ下関(下関市総合体育館)」
〒750-0041 山口県下関市向洋町一丁目11-1
TEL 083-233-0125 FAX 083-250-9866

7 参加資格

- (1) 参加者は、都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍し、本要項により全国大会参加資格を得た者に限る。
- (2) 年齢は、平成23年(2011年)4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、令和8年6月30日までに、各都道府県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 都道府県代表または都道府県中学校体育連盟の推薦を受けた一校単位(一団体単位)で編成されたチーム及び個人とする。また、開催都道府県は団体男女各2チーム・個人男女各4名の参加を認める。但し、「全国中学校体育大会拠点校部活動参加規程」に基づき編成されたチームでの参加ができる。
- (5) 1チームの編成は、男女とも監督1名・選手5名・補員2名以内とする。チーム成立の最低選手数は、3名とする。4名の場合のオーダーは次鋒を空ける。3名の場合のオーダーは次鋒と副将を空ける。
- (6) 令和8年度全国中学校体育大会(夏季大会)の他競技に出場していない者とする。

(7) 参加資格の特例

◎ 学校教育法 134 条の各種学校在籍生徒

① 学校教育法 134 条の各種学校（1 条校以外）に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

○ 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。

ア 全国大会の参加を認める条件

(ア) (公財) 日本中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

(イ) 生徒の年齢及び修業年限が、我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。

(ウ) 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

イ 全国大会に参加した場合に守るべき条件

(ア) 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員または部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

(ウ) 大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

◎ 地域クラブ活動に所属する中学生

② 地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

○ 全国中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

ア 全国中学校体育大会の参加を認める条件

(ア) (公財) 日本中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

(イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。

(ウ) 地域クラブ活動にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。

(エ) 『部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン』（令和 7 年 12 月文部科学省発出）を遵守していること。

(オ) 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること（登録費については、都道府県中学校体育連盟の方針による）。

(カ) 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

(キ) 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

イ 全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

(ア) 全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 全国中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者もしくは、指導資格を有する指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

(ウ) 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

(エ) 団体競技における地域クラブ活動での出場は 1 チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

ウ 参加を認めない場合

(ア) 全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

エ 地域クラブ活動の参加について以下の細則を設ける。

(ア) 都道府県中体連に登録し、参加を認められていること。

① 団体戦については、以下の通りとする。

ア 自治体主導で発足した地域クラブ活動（モデル地区を含む）

イ 部活動の地域展開を主目的として発足した地域クラブ活動

ウ 地域のために日常的に活動が継続されている地域クラブ活動

上記ウは、1年以上の活動実績があり、複数学年の生徒が所属していること。かつ都道府県中体連剣道専門部が、都道府県中体連登録条件を遵守した団体であると判断した地域クラブ活動とする。

② 個人戦においても、所属する地域クラブ活動からの参加とする。

③ 参加の許可については、都道府県中体連及び都道府県中体連剣道専門部が確認（団体戦については自治体、教育委員会等から地域移行と認定された団体であること）を行い判断する。

(イ) 所属する地域クラブ活動が登録する所在地の地区中体連の予選会から参加する。

(ウ) 監督は、地域クラブ活動の指導者とする。

(エ) 年度当初に所属中学校もしくは地域クラブ活動のどちらから参加するかを申告する。

(オ) 団体戦・個人戦ともに同一団体からの出場とする。（例えば、団体戦は学校から、個人戦は地域クラブ活動からという参加は認めない。）

(カ) 地域クラブ活動からの出場は、団体戦については1団体1チームのみとし、同一団体から複数チームの参加はできない。個人戦の1団体の出場枠は各大会の規程による。

オ その他

(ア) 上記細則は、令和8年度の規程とし、以降修正を加えることができる。

◎ 認定地域クラブ活動に所属する中学生

① 上記「◎地域クラブ活動に所属する中学生」の ア～オに準ずる。

② 認定地域クラブ活動を実施している市区町村において、当該自治体に認定されていない地域クラブ活動は、参加を認めない。（認定制度開始日から2年間を猶予期間とする。）

③ 認定地域クラブ活動には「全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例各競技部細則」は適用されない。

(8) 個人情報の取り扱い（利用目的）

① 大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、（公財）日本中学校体育連盟「個人情報保護方針・規定」に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。

② 取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ（以下HPと記載）・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）、動画配信等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。大会に参加する各選手はこれに同意すること。

③ 実行委員会に認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがある。大会に参加する各選手はこれに同意すること。

8 参 加 料 参加選手一人につき、4,000円とする。（個人戦・団体戦ともに参加する選手も4,000円とする。）
参加申込締切日以降の参加取り消しや不出場の場合、参加料の返金は行わない。

9 引率・監督

(1) 全中大会に出場するチーム・選手の引率・監督は、出場校の校長・教員・部活動指導員※1、地域クラブ活動の代表（指導）者とする。部活動指導員が引率・監督を務める場合は、「参加申込書」の監督者及び引率者の欄に指示されている印を付け、必要事項を記入する。なお、部活動指導員は、他校の引率者にはなれない。

※1 ここでいう『部活動指導員』は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者をいう。以下同じ。

(2) 全中大会では外部指導者を置くことができる。外部指導者は、出場校の校長が適切であると認めた者とし、所定の「外部指導者確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者にはなれない。また、同一人が複数校の外部指導者にはなれない。（地域クラブ活動は該当しない。）

(3) 全中大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者からの懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であることとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。

(4) 全中大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、「全国中学校体育大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。

(5) 監督を他校の教員に依頼しなければならない場合、当該校の校長と当該中学校体育連盟競技専門部が協議し、当該校の校長が監督を引き受けた教員の所属長（校長）と本人に文書で依頼する。

(6) 外部指導者確認書(校長承認書)の手続きは様式5、6をもって行う。監督依頼の手続きは様式7、~~8、9、10、11~~をもって行う。

10 参加数 ※男女同数

	都道府県(47)	開催都道府県	合計
団体戦	1 チーム	1 チーム	48 チーム
個人戦	2 名	2 名	96 名

11 競技規則

(1) (公財)全日本剣道連盟「剣道試合・審判規則・細則」及び「剣道試合・審判・運営要領の手引き」令和8年度(公財)日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項による。

(2) 試合方法

① 団体戦

ア 男女とも3チームを1組とし、予選リーグ戦を行う。その後、トーナメント戦方式で優勝、2位、3位を決定する。なお、3位決定戦は行わない。

イ 予選リーグ

(ア) 試合は3分3本勝負、時間内に勝敗が決しない場合は、引き分けとする。

(イ) 得点は勝ちチームが1点、引き分けは0.5点、負けは0点とし、得点、勝者数、総本数の順で予選リーグの順を決める。

(ウ) リーグ戦1位が3チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分3本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。なお、試合順はリーグ戦と同じとし、試合毎に代表者の変更を認める。

(エ) リーグ戦1位が2チームの場合は、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分1本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。

ウ 決勝トーナメント

(ア) 試合は3分3本勝負、勝敗が決しないときは、引き分けとする。

(イ) 勝者(チーム)が決しないときは、登録選手7名の中から任意の代表者による代表者戦を3分1本勝負延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。

② 個人戦

ア トーナメント戦方式で優勝、2位、3位を決定する。なお、3位決定戦は行わない。

イ 試合は3分3本勝負、延長戦を2分区切りで勝敗が決するまで行う。

(3) 特別規程

① 出場選手は、下記の要領で布製の名札を着用する。黒または紺地に白文字とし、学校名(県名禁止)、または地域クラブ活動名、氏名を明記する。

② 学校名の場合は「中」と表記(中等学校は、□□中等、〇〇義務学校は〇〇義務、など)すること。

③ 地域クラブ活動の場合は、その団体名等を表記すること。

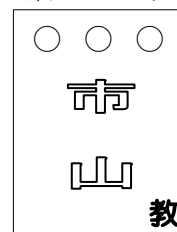
④ チーム名は横書き、姓は縦書きとし、同姓の選手がいるときは、名前の頭文字を入れること。解釈として、別の選手であることが確認できること。

(4) その他

① 化学繊維竹刀の使用を認める。

② アイガード、ポリカーボネート面の使用を認める。

③ インフルエンザ・コロナウィルス感染防止対策として、面マスクまたはマウスシールドの使用を義務付ける。



12 表彰

種目別	優勝旗(併用)	優勝杯(併用)	盾	トロフィー	メダル	賞状	木刀
団体	優勝チーム	優勝チーム	優勝チーム	1～3位	1～3位	1～3位	
個人				1～3位	1～3位	1～3位	優勝者

※ 団体戦5位4チームおよび個人戦5位4名に「敢闘賞」、団体戦ベスト8のチームから8名に「優秀選手賞」を授与する。

13 参加申込

- (1) 申込期限 令和8年7月30日(木) 12時00分必着
(2) 申込先

〒755-0092 山口県宇部市上野中町3番40号 宇部市立常盤中学校内
令和8年度全国中学校剣道大会
山口県実行委員会 事務局 担当者 篠原 博之
令和8年度第56回全国中学校剣道大会公式ホームページ

<https://kendo.zenchuu.jp/>

- (3) 申込方法 黒字で楷書にて、所定の用紙に必要事項を記入し、校長または地域クラブ活動の代表者の承認を得て書留便にて申し込む。参加申し込み後の選手の変更は、原則認めない。あわせて、大会HPで申込等の手続きを行うこと。大会HPでの手続きには、各都道府県に配布されたIDとパスワード(別紙参照)でログインし、必要なデータ・ファイルを入力・添付して送信すること。

① 団体戦出場チーム

提出物	申込み方法	数	備 考
申 込 書	郵送	1部	所定の用紙に記入する
申 込 書	HP	1部	所定の用紙と同じ内容を入力する
決意表明	HP	1部	必要事項を入力する
写 真	HP	1枚	監督・全選手を撮影した集合写真(jpg形式)

② 個人戦出場選手

提出物	申込み方法	数	備 考
申 込 書	郵送	1部	所定の用紙に記入する
申 込 書	HP	1部	所定の用紙と同じ内容を入力する
写 真	HP	1枚	選手の顔写真(jpg形式)
全国中学校体育大会 引率者・監督者報告書	郵送	1枚	必要な場合のみ申し込む

- (4) 参加料は、申込期日までに下記口座へ学校名または、地域クラブ活動名で振り込んでください。なお、振込手数料については各チームでご負担願います。領収書は、振込金受取書にて代えさせていただきます。

金融機関名 山口銀行 新下関駅前支店
預金種目 普通 5171887
フリガナ レイワチネットゼンチュウケンドウジツコウイカイ インチョウ イヤマリョウ
口座名 令和8年度全中剣道実行委員会 委員長 市山教好

14 諸 会 議

日 時	会 議 名	会 場
令和8年8月20日(木) 13時00分～16時00分	審判講習会・実技研修 (審判員全員)	J:COMアリーナ下関 多目的ホール 下関市向洋町一丁目11-1 TEL 083-233-0125
令和8年8月20日(木) 16時30分～18時00分	(公財) 日本中学校体育連盟 剣道競技部会	J:COMアリーナ下関 会議室 下関市向洋町一丁目11-1 TEL 083-233-0125

- 15 宿 泊 適切な危機管理対応(感染症・自然災害等)を確保するため、必ず、大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと。指定以外の宿泊施設利用は、原則として認めません。(別紙宿泊要項参照)

16 その他

- (1) 組合せ抽選は、事務局において大会役員立ち会いのもと令和8年8月4日（火）に行う。
- (2) 抽選結果については、令和8年8月11日（火）までに事務局より各ブロック長へ連絡するとともに大会HPに掲載する。
- (3) 大会前の練習会場は「山口県立下関武道館」と「夢が丘スポーツセンター」とする。
- (4) 本大会は、会期間中の負傷・疾病については、応急処置のみ行う。また、補償措置については、学校からの参加においては、独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。地域スポーツ団体等においては、チーム代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。なお、参加者はマイナ保険証または資格確認書を持参すること。（マイナ保険証や資格確認書がないときは保健医療が受けられない場合がある。）
- (5) 大会に関わる全ての者の感染症対策については、（公財）日本中学校体育連盟の「インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等に関わる対応について」並びに（公財）全日本剣道連盟の「主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン」等に従うこと。

17 連絡先

- (1) 大会開催前から令和8年9月30日まで

〒751-0878 下関市秋根上町二丁目5番1号 下関市立勝山中学校内
令和8年度全国中学校体育大会 山口県実行委員会
事務局長 市山 教好
T E L 070-5358-1143 (8:00～17:00)
E-mail nory07yamaguchi@gmail.com

- (2) 令和8年度第56回全国中学校剣道大会公式ホームページ

URL <https://kendo.zenchuu.jp/>